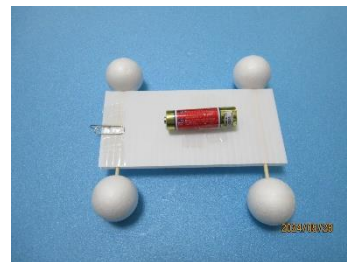


1. 日時：2024-09-27（金） 14：30～15：15
2. 学校：駒越小 クラブ活動 「科学クラブ（第3回/全7回）」 渡邊先生
4年～6年 4名 理科室
テーマ：スチロールカー

3. 活動状況

- (1) 今回のテーマは「スチロールカー」の工作。ゴムにて引っ張り力を付加して走行させることにより「フックの法則」を学ぶ。
- (2) スチロールカーの本体には「プラダン」を使用した。プラダンのハニカム（4角の格子状の穴）を軸受けとし、車軸には竹串を用いた。これにより車軸の直角・平行が維持できた。車輪はφ30のスチレン球を使用した。車軸に両面テープを巻きつけて走行中にスチレン球が緩んで外れないよう工夫した。
- (3) 運転席兼重りとして「単3乾電池」を使用した。従来はワッシャー（φ26）を重りとして使用したが、今回は乾電池に変更した。乾電池が1個の場合、2個の場合で走行に差が生じることを体験させた。乾電池は理科クラブで使用済みになったものを再利用した。



スチロールカー



参加児童に概要を解説



工作指導のやり方にはクラブ員の個性がにじみ出ている



気になった細部まで丁寧に指導



（渡邊先生）も活動に参加



完成車 発進！！

- (4) 本日の工作は車輪の取り付けは傾きやガタはなく、5m以上の走行も直進を維持し曲がることなし。参加者（4名+1名）全員パーフェクトな出来栄であった。

4. 理科クラブ支援者：4名